

ご存じですか、 地震対策

大阪北部地震では、高齢者の方が倒れた本棚やタンスに挟まれて亡くなったり、ブロック塀が倒れて小学4年生の女儿が下敷きになり死亡するという痛ましい事故が起きました。地震発生時の室内での怪我の理由の半数が家具が原因と言われています。もう一度、我が家を見直してみましよう。鈴鹿市の助成制度を紹介します。

●65才以上の高齢者世帯の家具の転倒防止対策<無料>

●ブロック塀等除却工事 助成制度

危険と思われるブロック塀を除却するために、除却費の2分の1を25万円を限度に助成する制度です。

都市対抗野球 「ホンダ鈴鹿」応援

先日のお昼休みに、鈴鹿市役所1階ロビーで、都市対抗野球大会出場「ホンダ鈴鹿硬式野球部」壮行会が開催されました。

第1試合7月15日に応援に行ってきた。何度も盛り上がりましたが、あと一歩及ばず負けました。また来年に期待！



■ブログ記事を中心に編集しています。皆様のご意見・感想をお寄せ下さい。

■日々の活動は、HP、ブログ、facebookをご覧ください。

「はしづめ圭一」で検索して下さい。



メール



HP



ブログ



若松海岸清掃 ボランティアに参加しました。

朝から、若松海岸清掃ボランティアがあり参加しました。若松海岸をメイン会場に、千代崎海岸、原永海岸でも行われました。

自治会、老人会、小中学生、消防団、協賛企業や地域の皆さん、多くの皆さんが参加しました。

毎年、春と秋の2回行われていますが、今日は心配された天気も快晴で、気持ちいい海岸清掃になりました。千代崎海岸に咲く浜屋顔と浜防風がきれいです。(5/19)

「平和への祈り展」

イオンホールで開催中の鈴鹿市「平和への祈り展」での講演会「原爆のはなしを聞こう」で三重県原爆被災者の会・山口詔利さんのお話を聞きました。

「原爆爆心地の地表温度は3千から4千度になる、想像出来ませんか・・・」と静かに問いかけながらのお話し。「こういう惨事を2度と繰り返してはならないとの思いで、語り部を続けている」と締めくくりました。(6/29)



No.13 2018年8月号

〒510-0226 鈴鹿市岸岡町2874-1

電話・FAX 059-386-8561

携帯 090 6577 3617

発行：鈴鹿市議会議員 橋詰圭一



コミュニティバス＝地域バス



今でしょコミバス!! 地域交通の実現を求める

6月1日、鈴鹿市のショッピングセンターに76才の男性が運転するクルマが突っ込んだというニュースが、テレビや新聞で報道されました。毎日のように高齢者のクルマの事故が報道され、大きな社会問題になっています。高齢者がクルマに乗らなくても生活できるように、公共交通サービスを提供することは、自治体の大事な仕事のひとつになってきています。この思いを込めて、高齢者の生活交通について通算5回目の質問を行いました。

この6月議会でも、またこの1年間でも、今何人かの議員が一般質問でも取りあげました。それだけ市民の方の要求は、ますます強まっているのだと思います。

しかし、この1年間の答弁を振り返ると、1つは、既存の公共交通網の維持・確保を第一と考え、既存の交通の利用促進を行う。2つは、民間事業者と運行経路が重複する場合、民間事業者の経営を圧迫することになる。

3つは、公共交通空白地とされている一部

の地域において、デマンド方式を含めて小規模需要に対応した新たな交通サービスについて、検討をすすめていきたい。

・・・という3点に要約されると思いますが、多くの市民の方が求めている新たな交通サービスとは、ほど遠い内容で検討されてきていると言わねばなりません。

生活交通・地域交通の基本的な考え方について問いました。

都市整備部長からは「今年度は、例えばバス停から300メートルから500メートルなど様々なシュミレーションを行い、こういった地域が追加され、その地域のニーズなどの把握に努めたいとの答弁でした。

平成22年3月に策定された「鈴鹿市地域公共交通総合連携計画」がありますが、そこで掲げた目標と計画がほとんど実行されていません。多くの市民の方から、高齢者・交通弱者の生活の足を何とかしてほしいという声が多く聞かれるいま、市民の期待に応える「公共交通計画」が切実に求められています。



近鉄柳駅周辺の紫陽花ロード(6/7)

岐阜県関市の 関シティバス視察

鈴鹿市民のコミバスをよくする会事務局メンバーと、関市役所で関シティバスについてお話を聞いてきました。

関市中心部には、買い物循環線、市街地病院循環線と4路線のデマンドバス路線があり、2つの地区にはデマンド乗合タクシー、中心部から外れた5つの地域には運賃無料の地域バスが市街地と結んでいます。循環線、デマンドバス路線は均一100円、デマンド乗合タクシーは均一300円、また自主運行線は100～300円のゾーン制と、利用しやすい乗車運賃に設定されています。

昨年3月に策定された「関市地域公共交通形成計画」では、計画の基本方針として次の3つを掲げています。

①高校生が公共交通で通学できるサービスの提供、②高齢者が公共交通で日常生活ができるサービスの提供、③より多くの人が使いやすい公共交通サービスの提供、市民に分かりやすい3つの方針です。

この方針にもとづき、関シティバス、デマンドバス、デマンド乗合タクシー、地域内バスなど、関市の実情に合った運行形式

を考えて、だれもが利用できる交通手段・市民サービス向上をめざしていると感じました。その運行は岐阜バス等と協定を結んで委託していますが、運行経費は市が負担しているため、市民の要望を生かした公共交通網ができていると感じました。

運行経費に対する運賃収入は10%未満ですが、鈴鹿市のCバスのように受益者負担(運賃)40%をめざすという考えはなく、あくまでも先に書いた3つの基本方針にそった市民サービスの提供をめざしています。

関市は人口約8万7千人、一般会計予算370億円の小都市ですが公共交通に対する市負担は約3億円で、一般会計の約1%を使っています。

鈴鹿市では一般会計予算約630億円で、公共交通には約1億円の0.16%です。



安全と体調管理に十分注意され、災害対応などの任務を終えて帰宅されるよう願っています。



西日本豪雨災害、 緊急消防援助隊出発式

西日本豪雨災害の救援活動が急がれています。鈴鹿市消防署からも4名の署員が、緊急消防援助隊三重県大隊2次隊として派遣されます。

7月15日、朝7時30分に、鈴鹿市消防本部で出発式が行われたので参加しました。暑い中での救援活動なので着き次第、12日に出発した1次隊と交代するそうです。

千代崎海水浴場 すぐ横に津波避難ビル

千代崎海水浴場すぐ横にあった四季ホテル・プラーージュ鈴鹿が営業を終了し、サービス付高齢者向け住宅「プラーージュなごみ」に生まれ変わりました。

その改築に合わせて、有限会社 甚目様と鈴鹿市が「津波避難ビル」としての協定を締結し、内覧会がありましたので見学して来ました。外からの避難階段、非常用発電機、非常用照明などが整備され、避難場所として3階屋内廊下、2階屋上で、214名収容可能になっています。飲料水や玄米(精米機付)などの非常食も完備しています。

この建物はもともと三菱ケミカル健保の直営保養所であったものを、プラーージュが四季ホテルとして経営していました。立派な建物ですが、客足も伸びずどうなるんだ

ろうと心配していましたが、サービス付高齢者向け住宅として生まれ変わり、津波避難ビルとしても活用されるということで、うれしいですね。この建物が改築されることを知った近所の方が、「津波避難ビル」にならないかと提案し、実現に結びついたそうです。ビル所有者様+近所の方の機転+鈴鹿市の補助制度が実を結び、うれしさ3倍です。津波避難ビル補助制度の事業が広がるといいですね。



9条改憲NO! 憲法を 生かす全国統一署名

秘密法と共謀罪に反対する鈴鹿市民の会が毎月6日に行っている宣伝署名活動に参加しました。近鉄白子駅前広場、日曜日なので人出を心配しましたが、多くの方がシール投票や署名をしてくれます。「自衛隊を憲法に書き込むことに賛成か反対か」のシール投票では、迷わず反対の人が多かったです。

「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名」も昨年秋から取り組んでいますが、冬場は寒くて署名も少なかったのですが、暖かくなって署名も増えて、うれしいですね。今日は45分間で42筆ありました。9条って何ですか?と聞いてくる方もたまにいます。「憲法9条で戦争はしない、

戦力は持たないとしています」と説明しますが、もっともっと憲法の条文そのものの宣伝が必要ですね。

たまに、「外国から攻められたらどうするんだ?」という人がいます。そのときは、「自衛隊をなくそうとは言っていない。今のままで攻められたら守る・専守防衛に徹する」ということを言った後で、逆に「どれくらいの武力があれば攻められないと思いますか?」と問いかけます。それ以上の深い議論はしません。いろいろな意見があったのでいいのですから。(5/13)

